

JASMIM ジャーナル（日本音楽即興学会誌）

第 9 巻 2024 年

巻頭言

日本音楽即興学会編集委員会委員長 安藤 大地

.....2

原著論文

様式的規範に束縛されない集団即興演奏における演奏者の習熟過程

—サウンドペインティング実践者に対するインタビューと SCAT によるテキスト分析を通して— / 長谷川 諒

.....3

Original Paper

Promoting Programming Education through Musical Composition and Performance:
Important Insights from a Practice Class with Sixth Graders

/ Daisuke TERAUCHI, Yayoi KOGAMOTO, Hiroshi NAGAYAMA

.....37

研究報告

保幼小連携を目指した音楽即興表現に関する一考察

—小学校学習指導要領における「設定した条件」を手がかりとして— / 松本 哲平

.....51

2023 年度 JASMIM 助成イベント 実施報告

即興画と即興演奏のワークショップ

絵—トビート〜描いた絵を楽譜に即興演奏をしてみよう〜 / 高橋 真理子

.....66

2022 年度 JASMIM 助成イベント 実施報告

Social Kitchen 口琴ナイト / 寺内 大輔

.....71

CD レビュー

インド実験音楽シーンの現在

—Anthology of Exploratory Music from India の作品を中心に— / 井上 春緒

.....73

日本音楽即興学会

巻頭言

日本音楽即興学会編集委員会委員長 安藤 大地

JASMIM ジャーナル 9 巻をお届けします。今回は、原著論文 2 本、研究報告 1 本、助成金報告 2 本、CD レビュー 1 本を掲載することができました。

JASMIM ジャーナル編集委員会は編集担当理事が組織するため、理事の任期と同じく 3 年間の任期となります。現編集委員会は 2022 年 2 月の発行から 3 号分の発行を担当してきました。3 年間無事に発行できたことを会員の皆様にお礼申し上げます。

JASMIM ジャーナルは当初より PDF の形で発行開始しました。近年は学術情報検索の重要性の向上に伴い、PDF に論文のあらゆる学術的情報つまり研究や論文に関するメタデータを含め、検索・利用可能にすることを、国立情報学研究所が主導して国内の研究機関に指導しています。また最近は音楽分野でも、音源や演奏映像のデータアーカイブのプロジェクトが国内外で進んでいます。音源や映像でもやはりメタデータをどのように付与していくかが重要な研究課題となっています。

即興演奏は一時のものだからこそ、その研究のためにはアーカイブが重要になると我々は考えています。皆様も、即興演奏をその場で終わらせるのではなく、どのようにその即興演奏を作る方法を考え演奏したのかを、文章・音源・映像として記録して、アーカイブに残していくことが、今後の即興演奏研究の発展に必要なのではないのでしょうか。

3 年間ありがとうございました。

(日本音楽即興学会編集委員会 安藤大地, 田中順子, 嶋田久美, 若尾裕)